

ZOOM



警告！

いかなる目的のためにも本マニュアルを複製、送信、流布、ダウンロード、媒体へ保存することを禁じます。

 **AIRHEART**



有限会社エアハート コーポレーション 〒125-0035 東京都葛飾区南水元2-26-11 Bell Wood bldg.101号室 TEL:090-4735-6585
WEB:[https:// www.airheart.jp](https://www.airheart.jp)
E-mail:info@airheart.jp

XA

日本語マニュアル

ZOOMへようこそ!	3
テクニカルデータ	4
認証	4
審査	5
基本設定	5
フライト	5
ライザーズ	6 ス
タート準備/スタートチェック	7
フライト	7
カーターン	7
ランディング	8
急降下	8
ビッグイヤー	8
B-STALL	9
STEILSPIRALE	9
コラップス	10
フロントコラップス	10
片側失速/スピン	10
フルストール	11
サックフライト	12
ウィンチテイクオフ	12
一般的な取り扱い説明	13
保管	13
輸送	13
クリーニング	13
修理	13
保証	14
自然と景観の保全行動	14
廃棄	14
ラインの長さ	15
グライダー概要	16
ラインプラン	17
概要ライザー	18
ライザーの長さ	19
ブレーキハンドル	20
納品内容	21

ZOOMへようこそ!

XAをご購入いただいたお客様は、ZOOMチームの一員となり、ZOOMに信頼を寄せていただいたことを大変嬉しく思います!

ZOOM a brand of Papesh GmbH
Dorfstrasse 7
6212 Maurach - AUSTRIA

操作マニュアル

このマニュアルには、XAに関するすべての重要な情報が記載されています。初飛行の前に、このマニュアルをよくお読みください。また、XAに関するビデオ説明書がある場合は、QRコードからダウンロードすることもできます。XAに関するその他の技術情報は、ホームページでもご覧いただけます。

XAについてご不明な点がありましたら、いつでもZOOM販売店またはZOOMサポートチーム (support@zoom-paragliders.com) までお問い合わせください。喜んでお手伝いさせていただきます。

新しいXAで素晴らしいフライトと楽しい時間をお過ごしください!

ターゲット・グループ

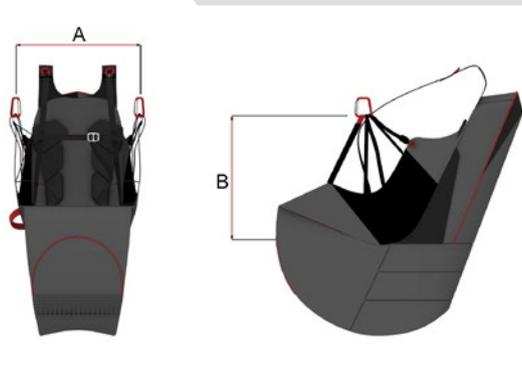
バランスのとれたテイクオフとコントロール性を備えたこのグライダーは、日常的なトレーニングに最適です。しかしながら、高品質な技術的特徴を駆使したXAは、トレーニング後の最初のグライダーを探しているパイロットにも高い評価をもたらします。

適切なハーネス

ハーネスの選択はXAの飛行挙動に大きな影響を与えます。型式試験に使用されるハーネスは、正確に定義された形状に対応していなければなりません。

このため、試験飛行には以下の寸法のハーネスを使用しました:

総離陸重量 < 80 kg:	距離 (A) 40 +/- 2 cm, Höhe (B) 40 +/- 1 cm
総離陸重量 80 - 100 kg:	距離 (A) 44 +/- 2 cm, Höhe (B) 42 +/- 1 cm
総離陸重量 > 100 kg:	距離 (A) 48 +/- 2 cm, Höhe (B) 44 +/- 1 cm



TECHNISCHE DATEN

Größe	85	95	105	115	125
Zellen	45	45	45	45	45
Fläche projiziert (m ²)	20,28	21,59	22,95	24,34	25,78
Spannweite projiziert (m)	8,45	8,72	8,99	9,26	9,53
Streckung projiziert	3,52	3,52	3,5 2	3,52	3,52
Fläche ausgelegt (m ²)	23,86	25,40	27	28,64	30,34
Spannweite ausgelegt (m)	10,70	11,04	11,39	11,73	12,07
Streckung ausgelegt	4,81	4,81	4,81	4,81	4,81
minimale Profiltiefe (m)	0,62	0,64	0,66	0,68	0,70
maximale Profiltiefe (m)	2,78	2,87	2,96	3,05	3,14
Mittl. Leinenlänge o. Tragegurt (m)	5,78	5,98	6,18	6,38	6,59
Leinenverbrauch (m)	261	270	278	287	296
Schirmgewicht (kg)	4,5	4,8	5,1	5,3	5,5
empfohlener Gewichtsbereich	65-85*	80-95	90-105	100-115	110-125*
mustergeprüfter Gewichtsbereich	60-90*	75-100	85-110	95-120	105-130*
sym. Steuerweg max. (cm)					
Anzahl Sitze	1	1	1	1	1
Klassifizierung EN/LTF	A*	A	A	A	A*
* in Bearbeitung					

Material Obersegel:	Porcher Skytex 38 Universal (38gr)
Material Untersegel:	Porcher Skytex 40 Easyfly (40gr)
Material Innen:	Porcher Skytex 40 hard (40gr)
Topleinen:	Liros DC60
Mittelleinen:	Liros DC60, Liros DSL70
Stammleinen:	Liros PPSLS180, Liros PPSLS125
Bremsleinen:	Liros DFLP232, Liros DSL 70
Tragegurt:	20mm

認証

XAはEN A/LTF Aランクの認証 (EN 926-1; EN 926-2; Nfl II 91/09) を取得しています。認証は、熱的に活発で乱気流下でのパラグライダーのフライト挙動について限られた情報しか提供できません。この分類は主に、穏やかな空気中での誘発された極端なフライト操作に基づいています。

XAは、空の重量が120kg未満の「軽量飛行機」のカテゴリーに属します。

配送

XAにはコンプレッションインナーバッグ、リペアキット、ミニウィンドソック、ストラップ、キーホルダーが付属します。

すべてのZOOMパラグライダーは、お客様にお渡しする前に、必ずZOOM販売店でフライトとチェックを受けてください。販売店は、パラグライダーの型式プレートに、初飛行の日付とパイロットの名前を記録しなければなりません。保証期間およびサービス間隔は、定格プレートに記入された日付から始まります。そこに日付が記載されていない場合は、グライダーがZOOMから販売パートナーに譲渡された日付が適用されます。

審査

お客様のXAは、飛行時間20時間後、または遅くとも24ヶ月後に、ZOOM認定チェックセンターで定期検査を受ける必要があります。この検査では、厳格なガイドラインに従い、すべての素材の状態を細心の注意を払ってチェックします。その後、パラグライダーの全体的なコンディションが評価され、検査報告書に記録されます。



商業的に使用される機材（訓練用グライダー、タンデム）は、必ず年1回の点検が必要です。これは非常に高い負荷にさらされるグライダーにも推奨されます。（また、石や砂の多い地形、塩分を含んだ空気、特に海水と接触するフライトを頻繁に行う場合にも、年に一度の点検をお勧めします。このような場合-通常以上に-グライダーにダメージがないか定期的にチェックすることもパイロットの責任です。

基本設定

ZOOM XAは、トリムとブレーキラインの基本設定をテスト済みでお届けします。これらの設定を変更すると、極端な飛行状況での挙動が変化する可能性があるため、絶対に変更しないでください。

XAのスピードシステムはハーネスに正しく接続されていなければなりません。設定が短すぎる場合、グライダーは常に加速してしまいます。スピードシステムの設定が長すぎると、XAのスピードポテンシャルを十分に生かすことができません。

フライト

新しいXAでの最初のフライトは、穏やかなコンディションで、慣れたフライトエリアで行うことをお勧めします。平坦な地形で数回プルアップの練習をすることで、XAのハンドリングに最初から自信を持つことができます。

ライザーズ

XAのライザーには、ライザーの取り付けに便利なカラーマークが付いています。どちらのライザーにも、背面に左側が赤、右側がグレーのカラーマークがあります（フライト方向から見て）。カラー・マークは、ねじれることなくライン・バックルまで自由に動くはず。これはライザーが正しく取り付けられていることを示します。



スタート準備／スタートチェック

各スタート前に以下のスタートチェックを実施してください：

- 1.ヘルメット、ハーネス、カラビナは閉じていますか？パラシュートは大丈夫ですか？
- 2.ライン、ライザー、アクセルは大丈夫ですか？
- 3.リーディングエッジが開いていますが、キャノピーは大丈夫ですか？
- 4.風向きと風力は大丈夫ですか？
- 5.空域は空いていますか？

スタート

XAのテイクオフ挙動は、前方テイクオフ、後方テイクオフともに非常に均質でシンプルです。XAはA1/A2ライザーでテイクオフします。キャノピーは中央で均一に満たされ、パイロットの上でスタックすることなく上昇します。XAは微風でもわずかな初期衝動しか必要としません。ラインに突っ込む必要はありません。Aライザーを適度な強さで引き続けることで、パラグライダーを自分の上に導くことができます。

 テイクオフの前に、XAのキャノピーを少し膨らませ、ライズアップの挙動を最適化します。

フライト

XAは穏やかな空気の中で、ステアリングラインを完全に切った状態で最もよく滑空します。最小の沈下位置は、わずかにブレーキをかけることで得られます。向かい風やダウンウインドのコンディションでは、スピードバーを使用することで滑空性能が大幅に向上します。XAには高い安定性が備わっていますが、乱気流の中ではアクティブにフライトする必要があります。アクティブフライトとは、乱気流の中で常にブレーキケーブルを使って迎え角と対気速度をチェックし、修正することです。こうすることで、コラップスをほぼ完全に回避することができます。

ターン

XAは非常にコントロールが正確です。コントロールの入力に対して、非常にダイレクトかつ連続的に反応します。使用範囲内であれば、心地よく軽い、しかし明確なコントロールプレッシャーで旋回することができます。パイロットは常にキャノピーから率直なフィードバックを受けることができます。

 ブレークラインが切れた場合は、BハンドルでXAを操舵することもできます。

アクセル

アクセルフライトでは、Cライザーを使って乱気流、速度、迎角を補正し、パフォーマンスを向上させることができます。さらに、わずかな方向修正も簡単かつ効率的に行うことができます。

 乱れた気流の中ではアクセルを離し、ブレーキを積極的に使って飛行してください。

 Cライザーを握るときは、ブレーキが巻かれていないことを確認し、ステアリングの動きをコントロールしてください。

 Cライザーを過度に急激に引くと失速する危険性があります。

 XA（フル）アクセルでブレーキをかけないでください。潰れる恐れがあります。

ランディング

XAのランディングは簡単です。風に向かっての最終アプローチでは、グライダーはわずかにブレーキをかけながら滑空します。地上約1メートルの高さで、ブレーキを強くして迎え角を大きくし、グライダーを回復させます。最低速度に達したら、ブレーキを完全にかけます。強い向かい風が吹いている場合は、慎重にブレーキをかけます。パイロットが安全に地面に着いてから、キャノピーを慎重に失速させます。ファイナルアプローチでの急旋回を伴うランディングは絶対に避けてください（オシレーションの危険性があります）。

 完全に失速すると、たとえ高度が2メートルであっても、パイロットは非常に激しい衝撃を受けます。そのため、ブレーキはタッチダウンの直前でのみ完全にかける必要があります。

急降下

すべての急降下操作は、乱気流下での緊急事態に安全に使用できるよう、穏やかな空気と十分な安全高度で練習してください。これらの操縦は、安全訓練の一環として、飛行教官の指導の下で練習・訓練する必要があります。操縦中、パイロットは常に周囲の空域と地上からの高さに注意を払う必要があります。

ビッグイヤー

マヌーバを開始するには、約2 %加速し、AS3ライン（EarsマークのついたA2ストラップ）をラインバックルでつかみます。

（A2ストラップのEarsマーク）をラインバックルでつかみます。そして両方のラインを同時に素早く引き下げます。これにより翼端が折り返され、この位置が維持されます。ス

ピードバーを様々な操縦中の沈下速度をコントロールすることができます。耳を後ろに倒しながら体重を移動させることで、パラグライダーを操縦することができます。再開するには、AS3ライン（A2ハーネス）から手を離します。

 ビッグイヤーのまま急なスパイラルや急激な方向転換をしないでください。少ない本数のラインへの負荷が大きくなり、素材の損傷につながる可能性があります。

 耳を上げて飛ぶとキャノピーの抵抗が大きくなり、失速の危険性が高まります。

湿ったキャンバスもパラグライダーの空力特性に悪影響を与えます。この場合、このクイック降下オプションは使用しないでください。

B-STALL

XAのBライザーをラインロックの高さで両側からつかみます。左右対称に約1 -20cm引き下げ、その位置をキープします。キャノピーは後方に傾き、パイロットはキャノピーの下で安定します。これでパイロットは前進することなく失速したような飛行姿勢になります。回復するには、両方のストラップを左右対称に素早く上に引き上げます。最後に両方のBライザーを再び離します。グライダーは前方にピッチングし、再び速度を取り戻します。この間、XAはブレーキをかけてはいけません。



Bライザーを急に下げすぎたり、下げすぎたりすると、キャノピーが変形する「フロントロセット」が発生することがあります。この場合、直ちに操作を中止してください！

STELSPIRALE

スパイラルダイブは最も過酷な降下方法であり、高高度で安全講習の一環として習得するのが理想的です。開始は2段階に分けられます：まず、内側に体重とブレーキをかけながら、徐々に急な円を描きます。そして、Gフォースとシンクレートが急上昇する瞬間がやってきます。実際のスパイラルのリーディングエッジが地平線とほぼ平行になるまで、翼の機首はどんどん地面に向かって傾き始めます。最初の試みは、振り子のないリカバリーを練習するために、スパイラルダイブに入るかなり前に行うべきです。このリカバリーは、パイロットがニュートラルの状態です。インサイドブレーキをリリースすることによって達成されます。振り子のないリカバリーを確実にするためには、グライダーが大きくまっすぐになるか、バンク角が大きく減少すると同時に、インサイドブレーキをより強くかける必要があります。上述したように、実際のスパイラル運動は上述の移行期、すなわちグライダーが「機首に乗った」時にのみ始まります。この瞬間、パイロットはハーネスの中で外側に押され、安定したスパイラル運動を避けるために、パイロットはこの圧力に屈する必要があります。(インナーブレーキとアウターブレーキで沈下速度を変えることができます。もしパイロットが体重を外側にかけたままであれば、内側のブレーキを解除すればXAはスパイラル運動を確実に減速させます。その後、上記のように回復します。パイロットが体重を大きく内側に移動させた場合、両方のブレーキを解除してもXAはスパイラルし続けます。この場合、両側でブレーキをかけるか、ターンの外側でブレーキをかけ、もちろん体重を外側に移動させることが有効です。スパイラルでの沈下速度は10m/sから20m/s。体への負荷は4gを超え、体質によっては極端な場合、意識を失うこともあります。そのため、積極的かつ自信を持ってリリースをマスターするため、また、この緊張に対する身体の反応を知るために、この操作にゆっくりと取り組むことが非常に重要です。



安定したスパイラル・ダイブを終了するには、高いG負荷のため、非常に大きな力が必要です！スパイラルダイブの脱出は、G負荷が高いため、非常に大きな力を必要とします。また、自分の後流渦（ローター）に巻き込まれる可能性もあります！

コラップス

強い乱気流に入ると、パラグライダーの片側が潰れることがあります。具体的には、乱気流の結果、この側の迎え角が減少し、揚力が発生しなくなり、ラインから解放され、翼の片側が潰れる場合に起こります。このような潰れはスパンのごく一部にしか影響しないため、XAは大きな反応を示しません。翼幅の 0%以上に影響を及ぼすような大きな潰れでは、グライダーは明確な反応を示します：潰れた翼の抵抗が増すため、XAは潰れた側へ旋回し始めます。同時に、耐荷重面が小さくなり、飛行速度が速くなるため、翼は前方にピッチングします。パイロットは潰れていない側にブレーキをかけることで、この旋回とピッチングを防ぐことができます。この反応はもちろん不可欠で、特に地面に近いところでは、できれば安全訓練の一環として、高高度でコラップスを誘発させて練習すべきです。開いている側のブレーキのたわみが明らかに強すぎる場合、片側失速につながる場合があります。(片側失速参照)



特に加速飛行中のサイドコラップスは、非常にダイナミックな反応を示すことがあります！従って、加速時には常に十分な安全高度を確保してください！

フロントコラップス

「フロントストール」と誤解されがちなフロントコラップスも乱気流や飛行ミスの結果です。サイドコラップスとは対照的に、フロントコラップスは前縁全体が下に折れ曲がります。XAは通常フロントフラップを自動的に開きます。しかし、ほとんどの場合、再開放を早めるために、両サイドに少しブレーキをかけることをお勧めします。

片側失速/スピン

翼の片側で流れが途切れると、翼はネガティブに回転します。キャノピーは垂直軸を中心に回転し、回転中心は翼のスパン内にあります。内翼の破れた翼は後方に飛びます。片側失速の主な原因

- 低速飛行中、例えばサーマルで急旋回するとき、ブレーキを引きすぎて気流が失速。
- スパイラルダイブのような操作を開始する際、旋回中のブレーキがかかりすぎたり、衝動的にブレーキがかかったりします。最初にこのエラーに気づき、すぐにブレーキを解除すれば、XAはそれ以上影響を受けることなく通常のフライトに戻ります。

 ブレーキを解除してネガティブターンをすぐに止めないと、XAは前方に飛び出し、ハングアップしやすい衝動的な倒れ込みになることがあります。

フルストール

フルストールは複雑な操縦で、その正しいやり方はこのマニュアルでは説明しきれません。この操作を習得したい場合は、安全訓練コースの一環としてフライトインストラクターの監督の下で行ってください。ストールまでの使用可能なコントロールトラベルはグライダーの大きさによって異なります！乱気流の中では、失速はかなり早く起こることもあれば遅く起こることもあります。グライダーのコントロールトラベルをフルに活用したいのであれば、何度もフルストールを行い、片側失速させることで失速の感覚を養う必要があります。

 グライダーを安全に飛行させるためには、パイロットがどのような状況からでもフルストールをコントロールできることが不可欠です！特にハンググライダーでは、フルストールが正常なフライトを回復させる唯一の操作であることがよくあります。

サックフライト

失速とは、前進運動がなく、強い沈下速度を伴う飛行状態のことです。失速はパイロットが左右対称にブレーキをかけることで意図的に起こすことができ、ある程度完全失速の前兆となります。XAは通常、ブレーキを完全に解除することで自ら深い失速を開始します。非常に酷使されたグライダーで、布が多孔質であったり、ラインがねじれていたりする場合（例えば、多くのウインチランチングやスパイラルダイブの結果）、安定した失速状態を維持することができます。これは例えば、Bストールのリカバリーが遅すぎる場合や、大きなフロントストールの後に起こる可能性があります。また、グライダーが濡れていたり、雨の中や非常に冷たい空気の中でのフライトでも失速しやすくなります。安定した失速の場合、Aラインを前方に押すか下方に引くか、あるいはスピードバーを作動させます。わずかな振り子運動の後、グライダーは通常のフライトに戻ります。地面近くで失速した場合、翼が振り切れるだけの高さがあるかどうかを考慮してください。そうでない場合は、失速した状態で（ハード）ランディングすることが望ましいです。

 失速中にブレーキをかけると、グライダーは完全失速します！

濡れたパラグライダーで飛ぶと、以下のようなリスクがあります。

 失速。失速は多くの場合、いくつかの要因が組み合わさった結果です。一方では、浸水したキャノピーの重量が増加します。重量が増加すると迎え角が大きくなり、原理的にグライダーは失速限界に近づきます。一方、布についた水滴はノーズエリアの層流境界層に悪影響を及ぼし、達成可能な最大揚力値を著しく減少させます。ウェットパラグライダーを下限重量で飛行させた場合、翼面荷重の低下により迎角がさらにわずかに増加し、飛行速度が低下します。ウェットパラグライダーで失速する危険を避けるため、ブレーキはできるだけかけないようにしてください。この状態で耳を後ろに反らしてはいけません。

ん。濡れたパラグライダーでの失速を防ぐために、パラグライダーを少し（約2 -40%）加速させてください。これらの方法はすべてアタック角を小さくするものです。それでもウェットパラグライダーが失速した場合は、スピードシステムを使って加速してください。

クラバット

翼の一部が（特にコラプスや失速の後に）ラインに巻き込まれ、自力で開かなくなった場合、これをクラバットと呼びます。
クラバットが発生した場合、以下の対応をお勧めします：

1. カウンターブレーキをかけ、体重を開いている側に移動します。コラップと同様、グライダーはコラップした側から離れようとして、パイロットが体重移動とカウンターブレーキで反応しない場合、この旋回運動は場合によっては非常に早く安定したスパイラルダイブに変わる可能性があります。
2. ブレーキでポンピングして開く：グライダーがフックされている側のブレーキをしっかりと引くことで、必要に応じてハングアップを解除することができます。もう片方のブレーキでグライダーがまっすぐ飛行していることを常に確認してください。
3. スタビロラインを引っ張ります：ブレーキをかけても効果がない場合は、スタビロのリーシュを強く引っ張ることで引っ掛かりを解除できる場合があります。
4. フル・ストール：フル・ストールをマスターした人は、もつれを解く効果的な方法を持っています。
5. レスキュー：グライダーのコントロールを失った場合、あるいはこれ以上オープンを試みても高さが十分であると確信が持てない場合は、ためらうことなくレスキューパラシュートを使用してください！多くのパイロットは、レスキューパラシュートを使用するのに十分な時間があってもかかわらず、レスキュースローを躊躇しすぎたり、レスキューパラシュートを全く使用しなかったりします。このような事故は通常、壊滅的な結果をもたらします。逆に、オープンパラシュートからの降下で大怪我をすることはほとんどないので、レスキューを使用するときと同じように、フライト中に素早くレスキューのハンドルに手を伸ばすなど、少なくとも精神的にレスキュースローの練習をする習慣をつけましょう。また、多くのクラブやフライトスクールでは、ジムなどでレスキューパラシュートを投げるすることができます。もちろん、最も現実的な方法は、安全講習などの一環として、実際にレスキューパラシュートを投げることです。これらのことは、緊急時にレスキューパラシュートを投げることをためらったり、ストレスの多い状況でレスキューパラシュートを持っていることを「忘れる」ことを防ぐのに役立ちます。

ウィンチテイクオフ

XAには、ウィンチで牽引する際の特別な機能はありません。地面から平らな角度で離れるように注意してください。牽引解除アダプターの使用をお勧めします。

一般的な取り扱い説明

パラグライダーを正しく注意深く扱えば、たとえ集中的に使用したとしても、長年にわたって完璧な技術的状态を保つことができます。通常の使用においては、以下の指示に従ってください：

- テイクオフ前やランディング後に長時間太陽の下に放置するなど、パラグライダーを不必要に日光にさらさないようにしてください。折りたたむ際には、リーディングエッジのポリアミドロッドを不必要に曲げないようにしてください。
- サンシェードが濡れていたり、折りたたんだときに湿っていたりする場合は、後で乾燥した環境で乾燥させる必要があります。
- パラグライダーのリーディングエッジが地面に勢いよく当たらないようにしてください。
- ラインは汚れや鋭利な石から保護してください。
- 石ころだらけの地面では、どんなことがあってもラインに足を踏み入れてはいけません。
- 湿気と汚れは長期的にラインシースの収縮を引き起こし、パラグライダーのトリムを狂わせる原因となります。
- 塩水（汗を含む）は生地やリネン素材を傷め、強度を低下させます。

保管

パラグライダーは常に乾燥した暗い場所で圧縮せずに保管してください。濡れたパラグライダーや湿ったパラグライダーは室温で完全に乾燥させてください。

輸送

輸送中に振動が発生した場合（バイクなど）、金具（ラインロック）がキャンバスに触れないようにしてください（キャリアストラップ用のバッグを使用してください）。

クリーニング

キャノピーのクリーニングには、水と柔らかい布のみを使用してください（溶剤は使用しないでください）！キャノピーの内側に砂や土、石などが付着した場合は、それらを取り除いてください。海水に触れたパラグライダーは真水で十分に洗い流してください。

修理

縫い目とラインは最高の精度で製造されています。そのため、パラグライダーの修理は決してご自身の手で行わないでください。同一のスペアパーツを取り付けたり、セル全体を交換したりするのは、メーカーまたは認定サービスセンターのみです。ただし、布の小さな裂け目や穴を自己接着性のリップストップ素材で接着したり、ラインを交換したりするような軽微な修理は例外です。いずれの場合も、修理後またはライン交換後は、次のフライトの前にパラグライダーを膨らませ、地上でチェックする必要があります。パラグライダーには、自己粘着性のリップストップ素材を使用したリペアキットが付属しています。

ライン、ラインロック、ソフトリンク、ライザーなどのスペアパーツは、ZOOM販売店またはZOOMから直接お求めいただけます。長さ約3cmまでの破れや、縫い目以外の小さな穴は、リペアキットの自己接着性リップストップ素材で補修できます。粘着セイルは必ず丸く、楕円に、そして十分に大きくカットして、補修する部分にたつぷりと重なるようにしてください。セイルの裏側は別のサイズにしてください。傷んだラインは交換しなければなりません。ズームディーラーで交換するのが理想的です。また、ZOOMまたはZOOM販売店に直接交換用ラインを注文し、ご自身で取り付けることもできます。すべての住所は、www.zoom-paragliders.com。

保証

保証の一環として、弊社は、製造上の欠陥に起因する製品の不具合を修正することを約束します。保証を請求するためには、瑕疵の発見後直ちにZOOMに通知し、瑕疵のある製品を検査のために送付する必要があります。その後、製造者が製造上の欠陥の是正方法（修理、部品交換、または製品の交換）を決定します。お住まいの国の法定保証義務が適用されます。保証期間は、型式プレートに記載されている初飛行の日付から始まります。日付が記載されていない場合は、グライダーがZOOMから販売パートナーに譲渡された日付が適用されます。そうでない場合、Zoomの保証はそれ以降のクレームには適用されません。特に、製品の不適切または不正確な使用（不適切なメンテナンス、不適切な保管、過積載、極端な温度への暴露など）に起因する損害は保証の対象外となります。また、事故や通常の損耗に起因する損傷も同様です。プロが使用したグライダー（例：トレーニング用グライダーや商業用タンデムグライダー）は保証の対象外となります。

自然と景観の保全行動

モーターを使わないスポーツで、私たちはすでに環境意識の第一歩を踏み出しています。打ち上げ場所までハイキングする山歩きの人たちはなおさらです。しかし、私たち全員が高く評価している自然の美しさと多様性を維持するためには、できる限り環境に配慮した行動をとることが非常に重要です。つまり、自然を尊重してゴミを残さない、道を外れない、不必要な騒音を立てないということです。

廃棄

環境保護は、素材の選択とZOOM製品の製造において重要な役割を果たしています。ZOOMでは、品質および環境適合性試験を常に実施し、無害な素材と物質のみを使用しています。

す。ご使用の機器が数年後に寿命を迎えたら、すべての金属部品を取り外し（リサイクル）、ストラップや材料はこの目的のために用意された設備で処分してください。

安全に関する一般的注意事項

パラグライダーを行うには、必要な保険やライセンスだけでなく、適切な訓練と正しい知識が必要です。パイロットはフライト前に気象条件を正しく判断できなければなりません。さらに、パラグライダーと装備の要件は、パイロットの飛行技術に対応したものでなければなりません。また、パイロットはパラグライダーを練習する際、自然や景観に配慮する責任があります。適切なヘルメット、適切な靴と衣服を着用し、予備のパラシュートを携行することが不可欠です。各フライトの前には、機材のすべての部分に損傷がないか、フライトに適しているかをチェックしなければなりません。また、各フライトの前には離陸チェックを行わなければなりません。すべてのパイロットは、怪我や死亡を含む、パラグライダーに関連するすべてのリスクに対して全責任を負います。パラグライダーの製造者も販売者も、パイロットの安全を保証したり責任を負うことはできません。

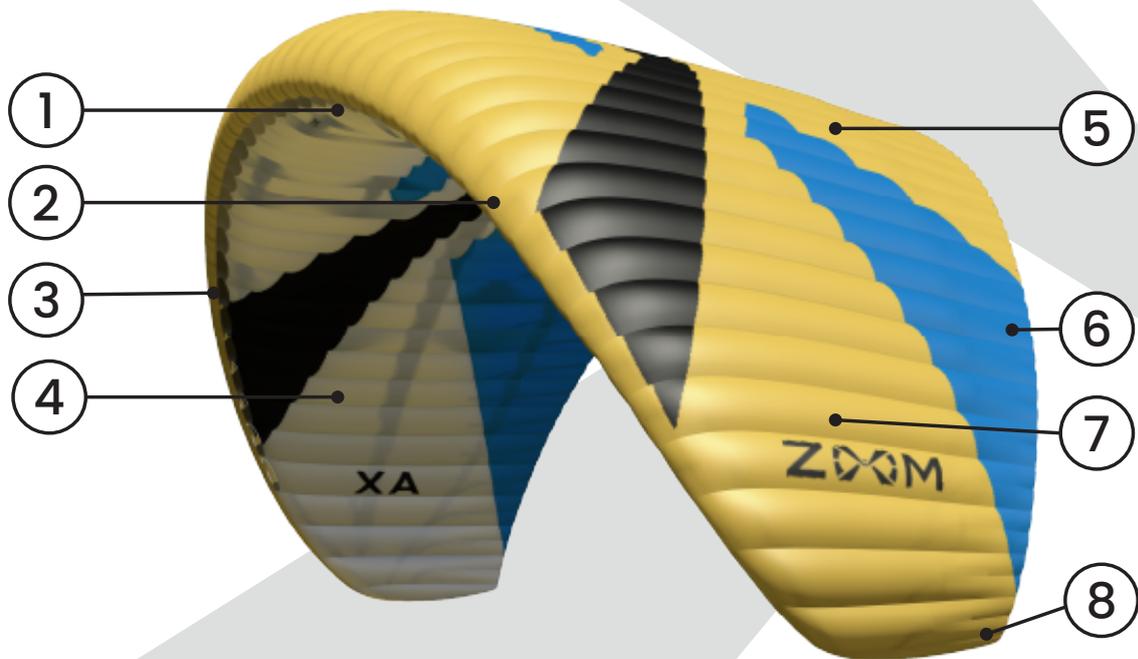
ラインの長さ

ライン総延長と各ラインの長さは、ホームページ（www.zoom-paragliders.com/dl/XA）でご覧いただくか、このQRコードをスキャンしてください。

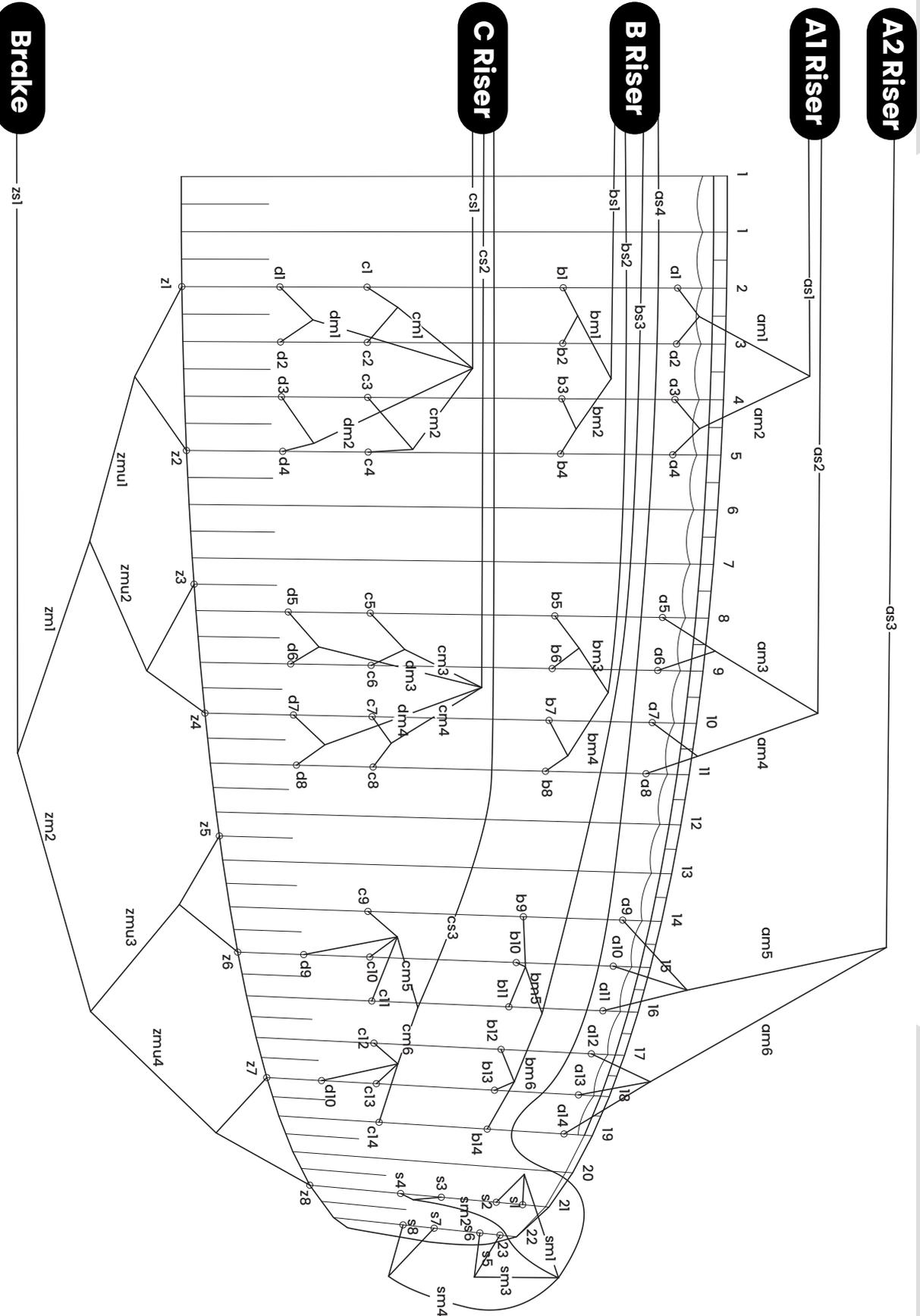


グライダー概要

1. ラベル
2. LEミニリブ
3. セル開口部
4. ボトムセイル
5. トップセイル
6. TEミニリブ
7. セル
8. 汚れの排出口

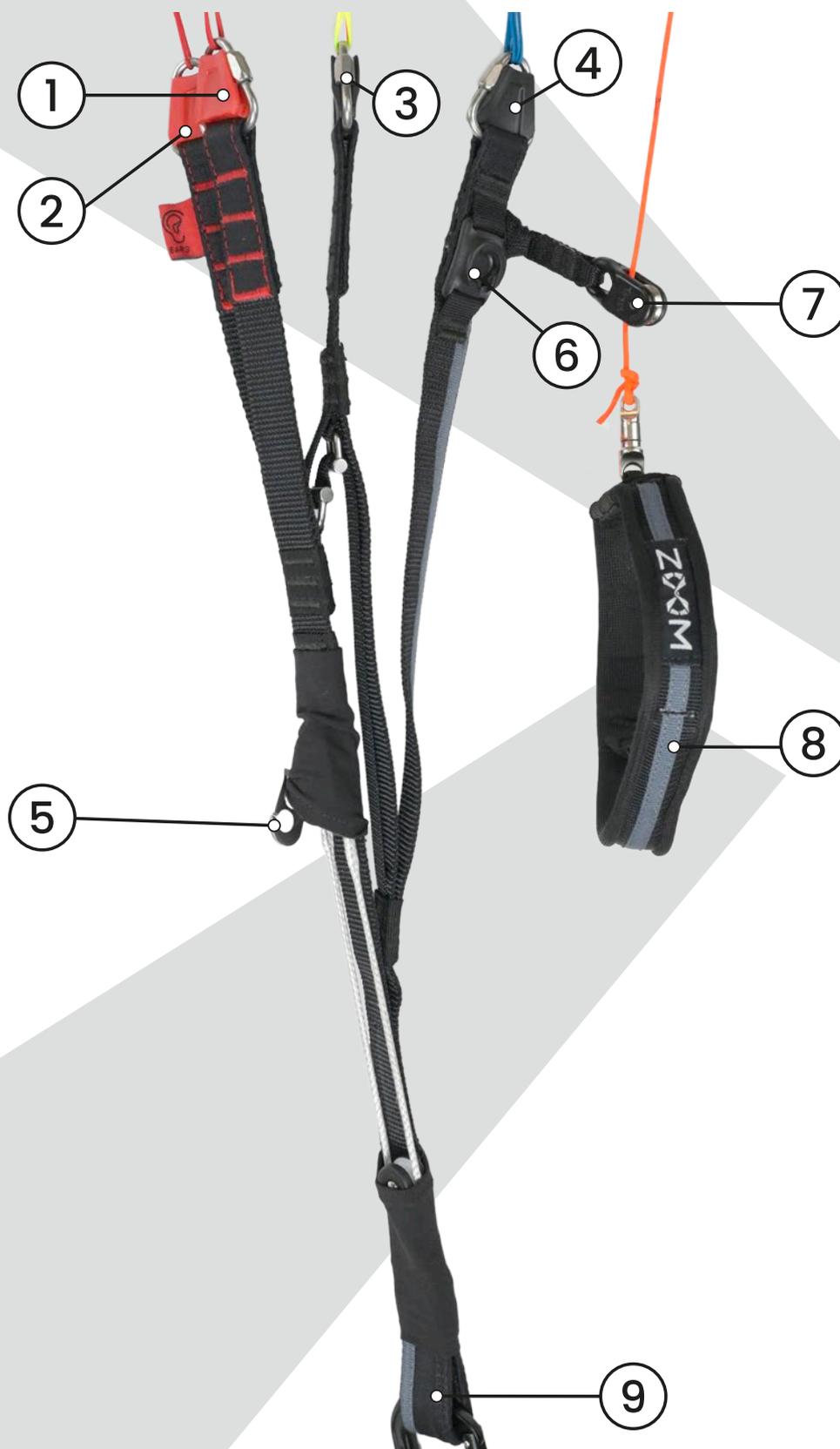


ラインプラン



概要ライザー

- 1. A1ライザー
- 2. A2ライザー (EARS)
- 3. Bライザー
- 4. Cライザー
- 5. ブランメルフック
- 6. フィドロックマグネット
- 7. ブレーキプーリー
- 8. ブレーキハンドル
- 9. サスペンションポイント



ライザーの長さ

通常:

A1: 520mm
 A2: 520mm
 B: 520mm
 C: 520mm

加速時

A1: 360mm
 A2: 360mm
 B: 520mm
 C: 520mm



ブレーキハンドル

XAのブレーキハンドルの硬さを変えることができます。まず、ホースバンドからタブ(1)を外します。次にラバー(2)を引き抜きます。その後、タブを所定の開口部に押し戻します。



納品内容

